

宮崎県感染症週報

宮崎県感染症対策課・宮崎県衛生環境研究所

令和5年第6週の発生動向

トピックス

・**新型コロナウイルス感染症**(新型インフルエンザ等感染症)の報告が1,877例あり、先週(2,915例)の約0.6倍であった。2023年の累積報告数は51,644例となった。※詳細は宮崎県新型コロナウイルス感染症特設サイトを御覧ください。

全数報告の感染症 (6週までに新たに届出のあったもの)

- 1 類感染症：報告なし。2 類感染症：結核 2 例。3 類感染症：報告なし。
4 類感染症：つつが虫病 1 例。5 類感染症：後天性免疫不全症候群 1 例、梅毒 2 例。

	疾患名	報告保健所	年齢群	性別	病型・類型	症状等
2類	結核	宮崎市	20歳代	男	頸部リンパ節結核	左耳前部痛
			60歳代	女	肺結核	痰、発熱
4類	つつが虫病	宮崎市	40歳代	男	—	発熱、刺し口
5類	後天性免疫不全症候群	都城	30歳代	男	無症候性キャリア	なし
	梅毒	宮崎市	30歳代	男	早期顕症梅毒Ⅱ期	硬性下疳、梅毒性バラ疹
		日向	30歳代	男	早期顕症梅毒Ⅱ期	梅毒性バラ疹

定点把握の対象となる5類感染症

・定点医療機関からの報告総数は 1,903 人(定点当たり 38.8)で、前週比 101%とほぼ横ばいであった。なお、前週に比べ増加した主な疾患は咽頭結膜熱で、減少した主な疾患はRSウイルス感染症とヘルパンギーナであった。

★インフルエンザ・小児科定点からの報告★

【インフルエンザ】

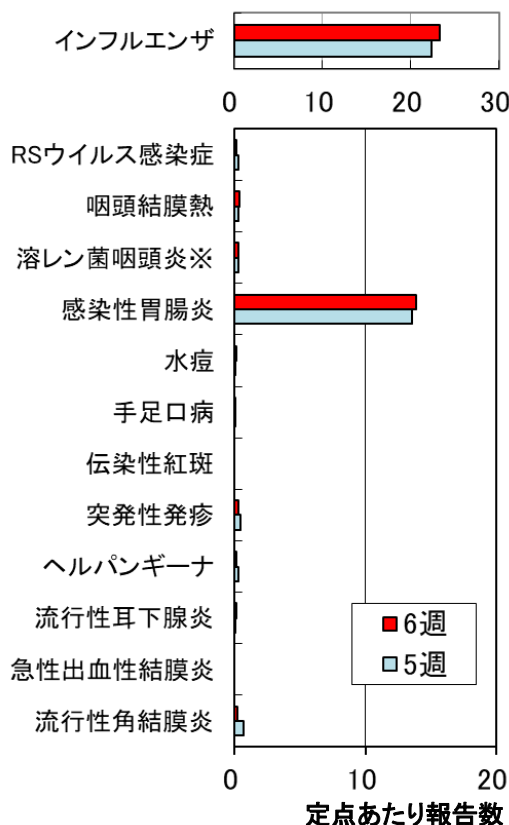
報告数は 1,349 人(23.3)で、前週比 104%とほぼ横ばいであった。例年同時期の定点当たり平均値*(19.2)の約 1.2 倍であった。延岡(59.3)、日向(26.7)、都城(25.9)保健所からの報告が多く、年齢群別は 5 歳から 9 歳が全体の約 4 割を占めた。

【感染性胃腸炎】

報告数は 500 人(13.9)で、前週比 102%とほぼ横ばいであった。例年同時期の定点当たり平均値*(9.9)の約 1.4 倍であった。都城(22.2)、小林(17.7)、宮崎市(14.9)保健所からの報告が多く、年齢群別は 1 歳から 5 歳が全体の約 7 割を占めた。

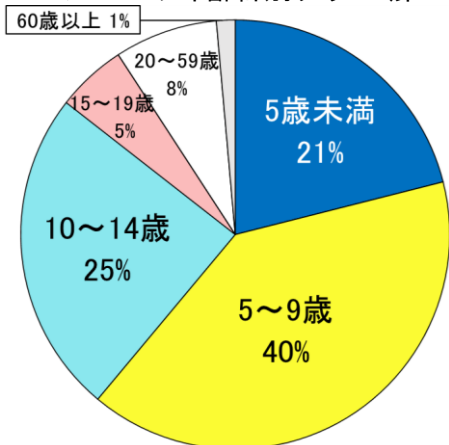
* 過去 5 年間の当該週、前週、後週 (計 15 週) の平均

《前週との比較》

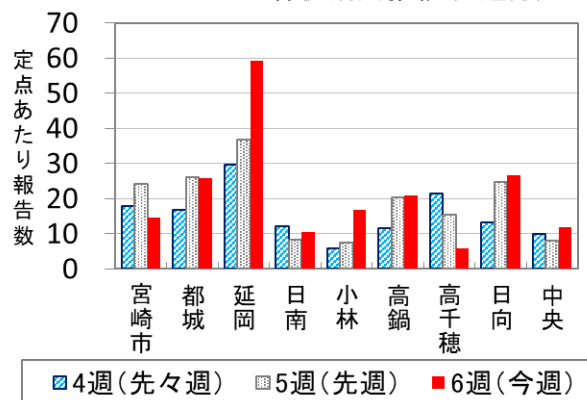


※ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

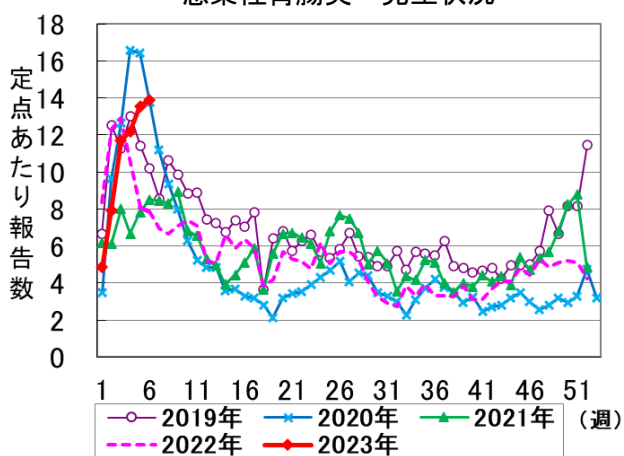
インフルエンザ年齢群別グラフ(第6週)



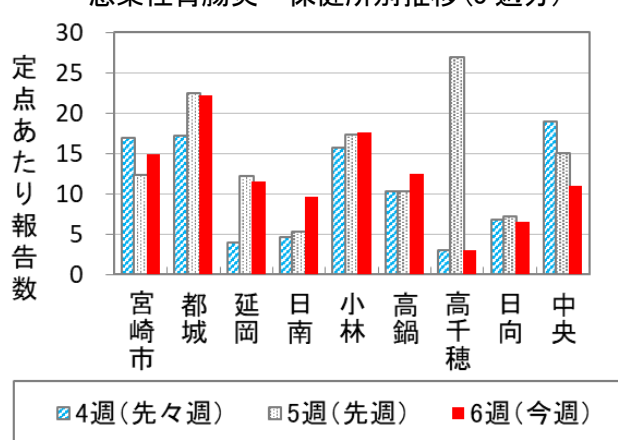
インフルエンザ 保健所別推移(3週分)



感染性胃腸炎 発生状況



感染性胃腸炎 保健所別推移(3週分)



★基幹定点からの報告★ なし

★保健所別 流行警報・注意報レベル基準値以上の疾患

保健所名	流行警報・注意報レベル基準値以上の疾患
宮崎市	インフルエンザ(14.6)
都城	インフルエンザ(25.9)、感染性胃腸炎(22.2)
延岡	インフルエンザ(59.3)
日南	インフルエンザ(10.4)、水痘(1.0)
小林	インフルエンザ(16.8)
高鍋	インフルエンザ(21.0)
高千穂	なし
日向	インフルエンザ(26.7)
中央	インフルエンザ(12.0)

※流行警報レベル開始基準値※

- ・インフルエンザ(30)
- ・感染性胃腸炎(20)

※流行注意報レベル基準値※

- ・インフルエンザ(10)
- ・水痘(1)

全国 2023 年第 5 週の発生動向

□ 全数報告の感染症

1類感染症	報告なし					
2類感染症	結核	179 例				
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	13 例	腸チフス	2 例	パラチフス	1 例
4類感染症	E型肝炎	6 例	A型肝炎	2 例	サル痘	2 例
	重症熱性血小板減少症候群	1 例	日本紅斑熱	2 例	レジオネラ症	13 例
5類感染症	アメーバ赤痢	10 例	ウイルス性肝炎	2 例	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	27 例
	急性弛緩性麻痺	1 例	急性脳炎	5 例	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	10 例
	後天性免疫不全症候群	13 例	侵襲性インフルエンザ菌感染症	1 例	侵襲性肺炎球菌感染症	19 例
	水痘(入院例)	4 例	梅毒	185 例	播種性クリプトコックス症	3 例
	破傷風	3 例	百日咳	9 例		

□ 定点把握の対象となる 5 類感染症

定点医療機関当たりの患者報告総数は前週比 115%と増加した。なお、前週と比較して増加した主な疾患はインフルエンザと流行性耳下腺炎で、減少した主な疾患は手足口病であった。

インフルエンザの報告数は 62,583 人(12.7)で前週比 122%と増加した。例年同時期の定点当たり平均値* (21.3)の約 0.6 倍であった。沖縄県(47.2)、福井県(35.5)、大阪府(29.9)からの報告が多く、年齢群別では 5 歳から 9 歳が全体の約 4 割を占めた。

感染性胃腸炎の報告数は 24,866 人(7.9)で前週比 107%と増加した。例年同時期の定点当たり平均値* (5.4)の約 1.5 倍であった。香川県(15.3)、大分県(13.7)、宮崎県(13.6)からの報告が多く、年齢群別では 1 歳から 4 歳が全体の約半数を占めた。

* 過去 5 年間の当該週、前週、後週(計 15 週)の平均

月報告対象疾患の発生動向 <2023年1月>

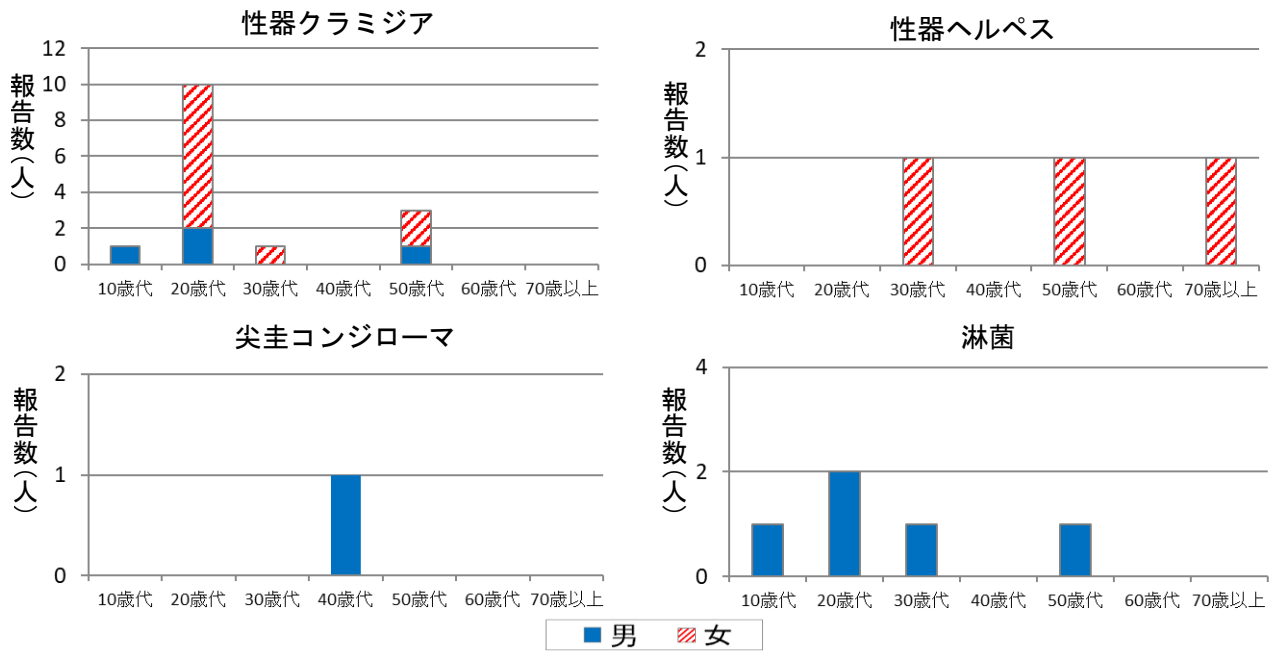
□性感染症

【宮崎県】 定点医療機関総数：13

定点医療機関からの報告総数は24人(1.9)で、前月比67%と減少した。また、昨年1月(2.5)の約0.7倍であった。

《疾患別》

- 性器クラミジア感染症：報告数15人(1.2)で、前月及び昨年1月の約0.8倍であった。
20歳代が全体の約7割を占めた。(男性4人・女性11人)
- 性器ヘルペスウイルス感染症：報告数3人(0.23)で、前月の0.4倍、昨年1月の約0.8倍であった。(女性3人)
- 尖圭コンジローマ：報告数1人(0.08)で、前月の約0.3倍であった。(男性1人、昨年報告なし)
- 淋菌感染症：報告数5人(0.38)で、前月の約0.7倍、昨年1月の0.5倍であった。(男性5人)



【全国】

定点医療機関からの報告総数は4,493人(4.6)で、前月比106%と増加した。疾患別報告数は、性器クラミジア感染症2,456人(2.5)で前月比106%、性器ヘルペスウイルス感染症694人(0.71)で前月比104%、尖圭コンジローマ500人(0.51)で前月比104%、淋菌感染症843人(0.86)で前月比112%であった。

□薬剤耐性菌

【宮崎県】 定点医療機関総数：7

定点医療機関からの報告総数は23人(3.3)で、前月比100%と同率であった。また、昨年1月(3.9)の約0.9倍であった。

《疾患別》

- メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症：報告数23人(3.3)で、前月と同率、昨年1月の約0.9倍であった。70歳以上が全体の約7割を占めた。
- ペニシリン耐性肺炎球菌感染症：報告なし。
- 薬剤耐性緑膿菌感染症：報告なし。

【全国】

定点医療機関からの報告総数は1,537人(3.2)で、前月比118%と増加した。疾患別報告数は、メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症1,457人(3.1)で前月比120%、ペニシリン耐性肺炎球菌感染症71人(0.15)で前月比88%、薬剤耐性緑膿菌感染症9人(0.02)で前月比200%であった。

宮崎県 感染症情報

(71定点医療機関)

2023年 第06週(02月06日～02月12日)

疾病名		第05週	第06週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
インフルエンザ	報告数	1273	1349	234	259	415	52	67	126	12	160	24
	定点当り	22.33	23.26	14.63	25.90	59.29	10.40	16.75	21.00	6.00	26.67	12.00
RSウイルス 感染症	報告数	9	5					5				
	定点当り	0.25	0.14	0.00	0.00	0.00	0.00	1.67	0.00	0.00	0.00	0.00
咽頭結膜熱	報告数	10	14	9	4							1
	定点当り	0.28	0.39	0.90	0.67	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	1.00
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	報告数	10	10	4	3	1	1				1	
	定点当り	0.28	0.28	0.40	0.50	0.25	0.33	0.00	0.00	0.00	0.25	0.00
感染性胃腸炎	報告数	488	500	149	133	46	29	53	50	3	26	11
	定点当り	13.56	13.89	14.90	22.17	11.50	9.67	17.67	12.50	3.00	6.50	11.00
水痘	報告数	1	4				3		1			
	定点当り	0.03	0.11	0.00	0.00	0.00	1.00	0.00	0.25	0.00	0.00	0.00
手足口病	報告数	2	2	1					1			
	定点当り	0.06	0.06	0.10	0.00	0.00	0.00	0.00	0.25	0.00	0.00	0.00
伝染性紅斑	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
突発性発しん	報告数	17	11	3	2	2	2	1	1			
	定点当り	0.47	0.31	0.30	0.33	0.50	0.67	0.33	0.25	0.00	0.00	0.00
ヘルパンギーナ	報告数	10	3	2			1					
	定点当り	0.28	0.08	0.20	0.00	0.00	0.33	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
流行性耳下腺炎	報告数	1	4			2	1					1
	定点当り	0.03	0.11	0.00	0.00	0.50	0.33	0.00	0.00	0.00	0.00	1.00
急性出血性結膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
流行性角結膜炎	報告数	4	1	1								
	定点当り	0.67	0.17	0.33	0.00	0.00						
細菌性髄膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
無菌性髄膜炎	報告数	1										
	定点当り	0.14	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
マイコプラズマ 肺炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
クラミジア肺炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	

インフルエンザ定点:58、小児科定点:36(インフルエンザ定点を兼ねる)、眼科定点:6、基幹定点:7

●全数把握対象疾患累積報告数(2023年 第01週～06週)

2類感染症	結核	16例(2)		
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	1例		
4類感染症	つつが虫病	6例(1)		
5類感染症	急性弛緩性麻痺	1例	クロイツフェルト・ヤコブ病	1例
	後天性免疫不全症候群	1例(1)		
新型インフルエンザ 等感染症	侵襲性肺炎球菌感染症	3例	梅毒	13例(2)
	百日咳	2例		
	新型コロナウイルス感染症	51644例(1877)		

()内は今週届出分、再掲